

報道関係者各位(企業情報)

2012年(平成24年)3月27日

ファンケルの環境活動を高く評価 平成23年度「かながわ地球環境賞」を受賞



(左) (株)ファンケル代表取締役 会長執行役員 宮島和美
(右) 黒岩祐治 神奈川県知事

株式会社ファンケル(本社・横浜市中区、代表取締役社長執行役員・成松義文)は、このたび、かながわ地球環境保全推進会議^{※1}と神奈川県が主催する『平成23年度「かながわ地球環境賞」』を受賞し、2012年3月26日(月)、黒岩祐治神奈川県知事から表彰状が授与されましたのでお知らせいたします。

「かながわ地球環境賞」は、かながわ地球環境保全推進会議および神奈川県が、地球環境保全に向けた実践的な活動を行っている個人や企業、NPO法人、行政、学校などを募集し、その業績または功労が顕著で他の模範となる

個人・団体を選出し表彰する賞で、今年度は当社を含む5社・団体(節電大賞、奨励賞を除く)が受賞いたしました。

なお、当社は、以下のような活動が高く評価され、今回の受賞となりました。

- ① 資材調達、研究開発、生産、販売に至る活動のあらゆる過程における、環境保全と環境負荷低減を積極的に推進
(具体例)
 - ・工場での「太陽光発電システム」の導入や本社内店舗での「横浜市風力発電事業」の協賛による自然エネルギーの活用
 - ・遮断フィルムやLED照明の導入など直営店舗、オフィス、工場における省エネルギーの推進
 - ・「箱裏能書」など商品資材の資源低減や発芽米、青汁における廃棄原料のリサイクルの推進
 - ・従業員による職場での3R^{※2}の推進
- ② 従業員の家庭でのエネルギー利用削減に取り組んだ「ECOチャレンジ」^{※3}を継続的に実施

当社では今後も、世の中の“不”を解消するという経営理念のもと、安心・安全な製品づくりを進めるとともに、地球環境に配慮した企業活動を行ってまいります。

用語説明

※1 かながわ地球環境推進保全会議

県民・企業・行政の三者により策定した神奈川地球環境保全行動指針「アジェンダ 21 かながわ」を推進していくために設立された推進母体

※2 3R

リデュース(廃棄物の発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)の3つのRによる環境と経済が両立した循環型社会を形成するためのキーワード

※3 ECOチャレンジ

ファンケルグループ従業員の家庭におけるCO₂削減を目指す取り組み。6カ月を1クールとし、自宅の「電気」「ガス」「水道」に関して一定の条件で削減できた際に、会社から褒賞金が授与されます。これまで、2008年7月から2011年9月まで計7クール実施し、延べ約1,600人の従業員が家庭でのCO₂削減に成功しております。

ファンケル 環境活動担当者からのコメント

当社では、従業員一人ひとりが、会社から家庭に至るまで、環境を意識した行動がとれる仕組みを企画・推進してきました。例えば、オフィスには机の周りにゴミ箱がありません。各フロアに分別用のゴミ箱を1カ所だけ設けることで、日々の業務でゴミが出ないように、そして、リサイクルできるようにゴミを分別して捨てる意識付けをしています。今回の受賞は、従業員全員が取り組んだ成果が実を結んだと実感しています。今後とも、よりよい社会のために環境活動に努めてまいります。



(株)ファンケル 管理本部 総務部
CSRグループマネジャー 白杵ひろみ

本件に関するお問合せ先:

株式会社ファンケル

社長室 広報グループ 岩本 浩昭

TEL:045-226-1230 / FAX:045-226-1202

〒231-8528 横浜市中区山下町 89-1 ファンケルビル